吹田市民病院だより No.95

〒564-8567 吹田市岸部新町５番７号
TEL (06)6387−3311
FAX (06)6380−5825
メール shomu@mhp.suita.osaka.jp
ホームページ
https://www.suitamhp.osaka.jp

消化器外科のお仕事とは？

外科(上部消化器)
主任部長 西川（にしかわ） 和宏（かずひろ）

消化器外科の仕事は、食道・胃・腸・肝臓・すい臓・胆道等、消化器系全般の疾患に対して外科的治療を行うことです。

患者さんはがんを主体としますが、炎症性疾患、良性腫瘍、外傷等多岐にわたり、診断から手術、術後管理まで幅広い役割を担います。手術は開腹術だけでなく、腹くう鏡やロボット支援手術等低侵襲技術も活用され、患者さんの負担軽減と早期回復を目指します。さらに、術後の栄養管理や合併症予防も重要で、チーム医療の一員として看護師や栄養士と連携します。

消化器外科医は高度な技術と判断力が求められ、命に直結する場面も多いため、緊張感と責任感を伴う仕事です。その一方で、患者さんの生活の質を大きく改善できるやりがいもある、専門領域といえます。

また、消化器外科では手術そのものだけでなく、周術期全体を見据えた医療が重視されます。術前には患者さんの全身状態や併存疾患を的確に評価し、安全に手術を行うための綿密な計画立案が求められます。高齢化の進展により、複数の疾患を抱える患者さんも増えており他診療科とも密接な連携が不可欠です。さらに、がん治療においては長期的なフォローアップを通じて再発予防や社会復帰の支援にも関与します。

このように、手術技術に加え、全身管理と総合的な判断力を兼ね備えた専門職であるといえます。

健都フェスに参加しました

令和7年11月16日に健都フェスに参加し、市民公開講座や手洗い指導、食事バランスチェックの企画を実施しました。市民公開講座では脳卒中、認知症予防のために役立つ情報を分かりやすく紹介し、手洗い指導では子どもから大人まで多くの来場者が正しい手洗い方法を体験しました。食事バランスチェックでは自身の食生活を見直すきっかけになったとの声が寄せられました。いずれの企画も盛況で、イベントは好評のうちに終了しました。

食事バランスチェック

手洗い指導

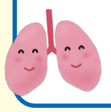
かかりつけ医をお持ちですか？

日頃の健康状態を知っていて、気軽に何でも相談できる地域の医療機関（診療所・クリニック）「かかりつけ医」がいれば、体調等に関して様々なことが相談できます。また、入院や精密検査が必要な場合は、症状に合った適切な医療機関を紹介してくれます。

患者支援センターでは近隣の「かかりつけ医」を御案内しています。また、当院ではかかりつけ医が必要だと判断した場合に診察予約・検査予約をしていただいています。

ホームページよりアクセスしていただき、
当院の登録医療機関を気軽に検索していただけます。
ぜひかかりつけ医をお持ちでない患者さんは、御活用ください。
かかりつけ医検索システムはコチラ➡

当院におけるがん診療について



当院は、がん医療水準の向上及び安心かつ適切ながん医療が選択できることを目的として大阪府が指定する「大阪府がん診療拠点病院」に認定されています。

がんについて、当院ホームページにて解説をしていますので、記載のQRコードから御確認ください。

当院ホームページ
「覚えておきたい「がん」のこと」➡

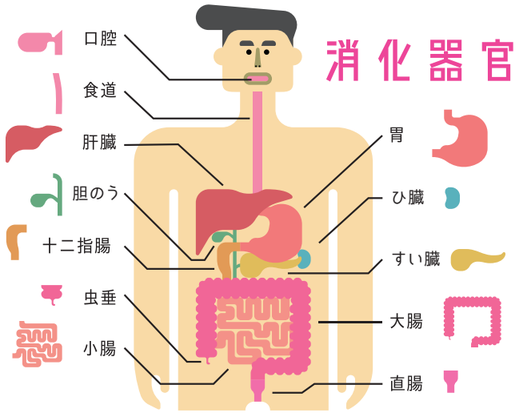
平素より吹田市民病院だよりを御愛読いただきありがとうございます。
御意見がございましたら市立吹田市民病院まで御連絡ください。

●編集・発行　市立吹田市民病院 広報委員会

消化器ってなに？

食べ物を口からこう門まで運ぶ消化管（口、食道、胃、小腸、大腸、こう門）と、消化を助ける肝臓・胆のう・すい臓等の付属臓器を合わせた器官の総称です。

主な働きは、食物を分解して栄養素を吸収し、未消化のものを体外へ排出することです。



どのような病気を扱っているの？

（上　部）悪性：胃がん、食道がん、GIST（消化管間質腫瘍）
　　良性：逆流性食道炎（食道裂孔ヘルニア）、粘膜下腫瘍

（肝胆すい）悪性：肝臓・胆のう・胆道・すい臓がん、すいのう胞性腫瘍
　　良性：胆石症、胆のうポリープ

（下　部）悪性：大腸がん
　　良性：炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎等）、痔（じ）、直腸脱

（その他）急性虫垂炎、腸閉塞、そ経ヘルニア、腹壁ヘルニア

当院消化器外科の特徴

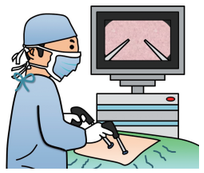
● **体に負担の少ない治療を行なっています**
腹くう鏡手術や手術支援ロボット(da Vinci)を用いて、患者さんに負担の少ない手術を心掛けて行っています

● **チーム医療で「わかりやすい診療」を実践しています**
患者さんの意見や希望を尊重し、不安のないできるだけわかりやすい診療を心掛けています。「医療」を安全に配慮し安心して受けることができるよう、様々なメディカルスタッフが診療科や職種の垣根をこえて連携・協働し、「チーム医療」も推進しています

● **臨床研究による治療にも取り組んでいます**
ガイドラインに基づく標準治療だけでなく、様々な臨床試験グループのメンバーとして、「研究的治療」にも積極的に取り組んでいます

腹くう鏡手術や手術支援ロボット(da Vinci)で
手術負担の少ない治療を目指して行います

チーム医療で患者さんと御家族を支えます

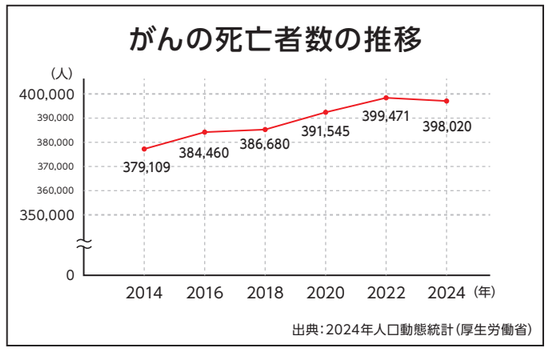


がんは増えています

がんは日本人の主要な死因であり、生涯で4人に1人ががんで亡くなっています。
出典：2024年人口動態統計（厚生労働省）

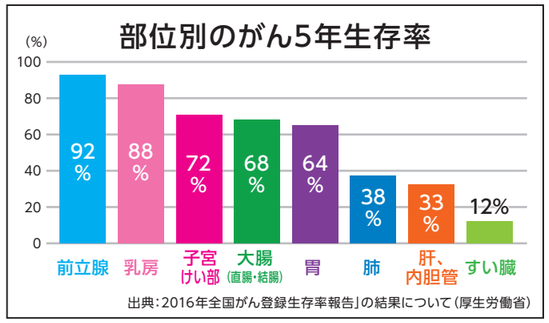
高齢化の進行や生活習慣の変化が背景にあり、早期発見と予防の重要性が一層高まっています。

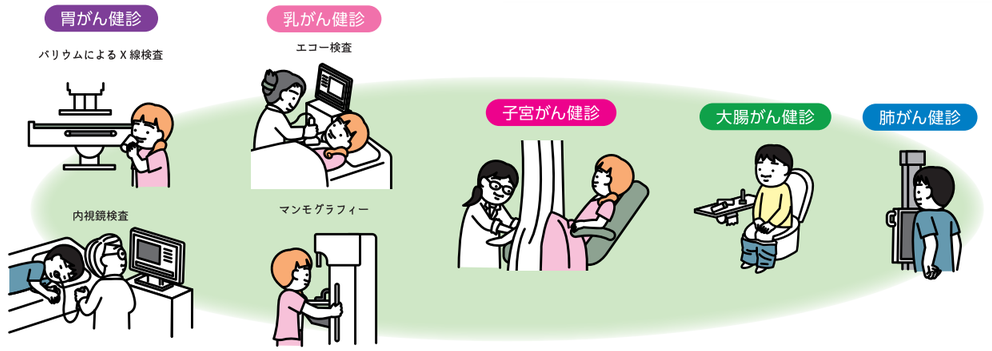
また年齢別で言うと、
50歳前後からがんになる人が増えています。
出典：2023年全国がん登録、り患数・率報告（厚生労働省）



がんの生存率と受診率

右の表は部位別のがん5年生存率ですが、2022年国民生活基礎調査（厚生労働省）によるとがん検診の大半は受診率が50％に達していません。
がん検診の早期受診が命を守る要になります。





がんは生活習慣で予防できます

がん予防は、バランスの良い食事、運動、適正体重を保つ、お酒を飲み過ぎない、禁煙する等の生活習慣の改善で予防することができます。